

○ [改定] 勝山市立地適正化計画（案）にかかるパブリック・コメント意見一覧

連番	該当ページ	意見	市の考え方	計画への反映
1	P57	勝山市はコンパクトな構成で成り立っており、都市機能は行き渡っているのに、今更どんな公共施設を増設するのかわからない。 第六次勝山市総合計画・勝山市都市計画マスタープランと本計画(案)の内容は重複している。 中学校の再編により新中学校を整備する場所は地域開発の進捗から判断するべき。	立地適正化計画は、上位計画となる第6次総合計画等との整合を図りつつ、都市計画マスタープランとともに将来都市像の実現を目指すものであり、主に居住機能や都市機能の誘導の進め方を示すものです。 勝山市では、公共施設を現在の規模で維持し続けることは困難であり、関連計画である「勝山市施設等総合管理計画」に記載のとおり、将来的な市民ニーズを検討のうえ、公共施設の総量縮減を図っていきます。	修正なし
2	P4	農村集落地域は近いうちに営農が成り立たなくなるため、農家の再配置計画が最重要課題となっていく。	本計画(案)は、既存の集落やコミュニティを否定するものではなく、農山村部や里地里山の保全は必要であるとしています。また、本計画(案)には、田園・集落ゾーンにおける課題解決のために必要な施策展開方針や将来イメージ、現在行っている支援施策等を記載しており、持続可能な農村基盤づくりを進めていきます。	修正なし
3	P17	勝山市立中学校再編計画では福井県立勝山高校の敷地内に新中学校を建設する計画となっているが、該当地域は2015年から2020年に人口集中地区が拡大しており、開発の余地が無くなっているのに、具体的にコンパクト化を目指す対象である市街地(用途地域)となっており、整合性が全くない。	本計画(案)の改定にあたっては、人口集中地区の範囲をはじめとした勝山市の現状を調査し、調査結果に基づき都市機能誘導区域及び居住誘導区域を再設定しています。今回の再設定の結果、新中学校建設箇所付近で各区域を拡大していますが、当該地域には居住、業務、その他用途に利用されていない低未利用地も存在し、開発の余地は残されていること、各区域の設定方針に合致する箇所であることから、区域設定の整合性は確保されていると考えています。	修正なし
4	P19	生活サービス施設の状況で、問題・課題を指摘しているが、実現可能な計画が示されていない。	本計画(案)では、居住誘導区域内に居住を誘導するための誘導施策を定めています。誘導施策を推進することで、生活サービス施設の維持をはじめとした課題解決を図っていきます。	修正なし
5	P27	昭和町2丁目他、三谷川周辺では土石流による土砂災害のおそれがある区域となっている。以前から対策を要望しており、早急に対策を実施してほしい。	三谷川周辺においては、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、浸水対策事業等のハード対策を実施しています。	修正なし